

令和8年1月13日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリック コメント 回答掲載日	承認日	(参考) 他の安全性の 確認状況	
		隔離ほ場 での 試験等	栽培	食 用	飼 料 用	觀 賞 用			食品安全性(食品衛生法)	飼料安全 性(飼料安全法)
セイヨウナタネ	長鎖オメガ三系脂肪酸産生及び除草剤グルホシネット耐性セイヨウナタネ (<i>Lackl-Δ 12D, Picpa-ω3D, Micpu-Δ 6D, Pyrco-Δ 6E, Pava-Δ 5D, Pyrco-Δ 5E, Pava-Δ 4D, pat, Brassica napus L.</i>) (NS-B50027-4, OECD UI: NS-B50027-4) 【ニューファム株式会社】		○	○	○		令和6年7月22日 (回答はこちら)	令和8年1月13日	○	○
テンサイ	除草剤グリホサート、グルホシネット及びジカンバ耐性テンサイ(変異 <i>cp4 epsps, pat, dmo, Beta vulgaris L. ssp. vulgaris var. altissima</i>) (KWS20-1, OECD UI: KB-KWS201-6)【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○		令和7年7月9日 (回答はこちら)		○	○

注1:名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2:名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3:第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4:「(参考)他の安全性の確認状況」の欄は、食品安全法に基づく食品としての安全性審査の手続を経たこと又は飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされたことを示すものです。「-」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。

参考1:承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(<https://www.biodic.go.jp/bch/lmo/OpenSearch.do>)から検索できます。

参考2:これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらから御覧ください。
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/index.html#1>